

## 「第63回経営・経済動向調査」結果について

大阪商工会議所と関西経済連合会は、会員企業の景気判断や企業経営の実態について把握するため、四半期ごとに標記調査を共同で実施している。今回は8月下旬から9月上旬に、1652社を対象に行い、452社から回答を得た（有効回答率27.4%）。

それによると、2016年7～9月期は、国内景気、自社業況ともに、3期連続でマイナス圏に転落した。

### 【調査結果の特徴】

#### 1 国内景気について ～3期連続で二桁のマイナス

- 2016年7～9月期の国内景気は、前期と比べ「上昇」と見る回答が7.8%、「下降」と見る回答が21.5%。この結果、B S I値（「上昇」－「下降」）は▲13.6と、前期（▲18.6）、前々期（▲28.1）に引き続き3期連続で二桁のマイナスとなった。
- 先行きについては、10～12月期のB S I値は2.0、2017年1～3月期は1.6と、緩やかな回復を見込む。

#### 2 自社業況について ～3期連続でマイナス

- 2016年7～9月期の自社業況の総合判断は、前期と比べ「上昇」と見る回答が18.6%、「下降」と見る回答が22.4%。この結果、B S I値は▲3.8と、前期（▲10.9）、前々期（▲2.8）に引き続き3期連続のマイナスとなった。
- 企業規模別には、大企業がプラス圏（5.5）に回復しているのに対し、中小企業（－11.4）はマイナス幅が拡大しており、企業規模により格差がみられる。
- 先行きについては、10～12月期のB S I値は7.0、2017年1～3月期は5.4と、プラスに転じ、回復を見込む。

#### 3 製・商品の販売価格について ～3割強が「適正な利益を反映した価格水準を下回っている」と回答

- 現在の製・商品の販売価格が、適正な利益を反映した価格水準になっているかを尋ねたところ、約6割（59.1%）の企業が「概ね適正価格である」と回答。一方、適正価格を下回っていると回答した企業も3割強（32.7%：「適正価格を少し下回っている（28.3%）」「適正価格を大きく下回っている（4.4%）」の合計）あり、中小企業や製造業では約4割に上る。
- 適正価格を下回っている主な要因については、「国内他社との価格競争の激化」（77.7%）が最も多く、以下、「顧客や消費者が価格に敏感」（44.6%）、「親会社・取引先による値下げ要請」（35.8%）と続き、値下げ圧力が強い。
- 利益を最も圧迫している要因については、「製・商品の販売価格の値下げ」（60.8%）が最も多く、「人件費の上昇」（32.4%）、「原材料、仕入価格の上昇」（31.1%）と続く。値下げが企業収益を圧迫する中で、人件費や原材料など、コストアップが収益を一層悪化させている。

# 第63回経営・経済動向調査

大阪商工会議所 公益社団法人 関西経済連合会

## <目次>

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1. 国内景気              | 2  |
| 2. 自社業況 総合判断         | 3  |
| 3. 自社業況 個別判断         | 4  |
| 4. 製・商品の販売価格         | 8  |
| 参考(BSI値の推移)          | 11 |
| 参考(国内景気判断と自社業況判断の推移) | 12 |

## <概要>

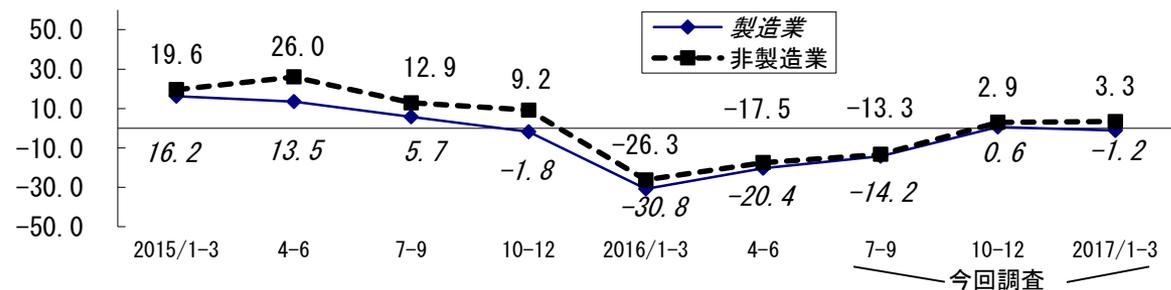
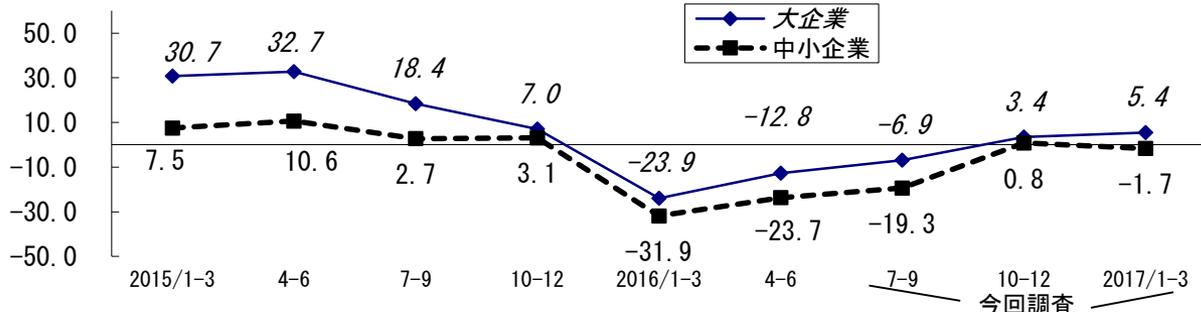
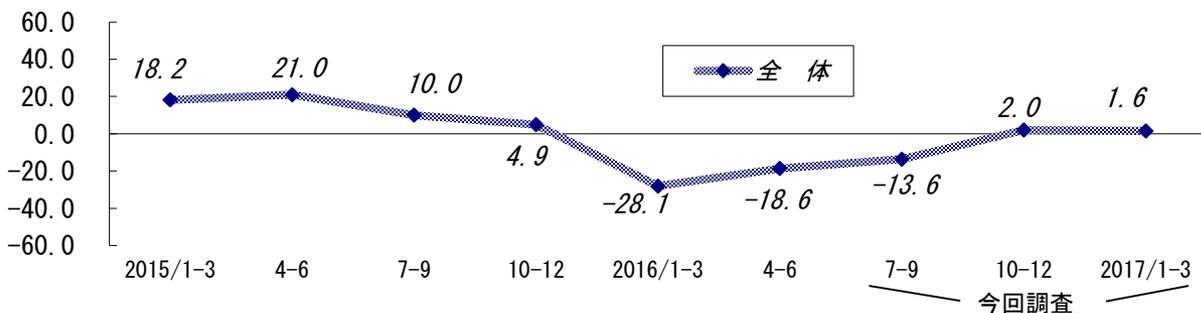
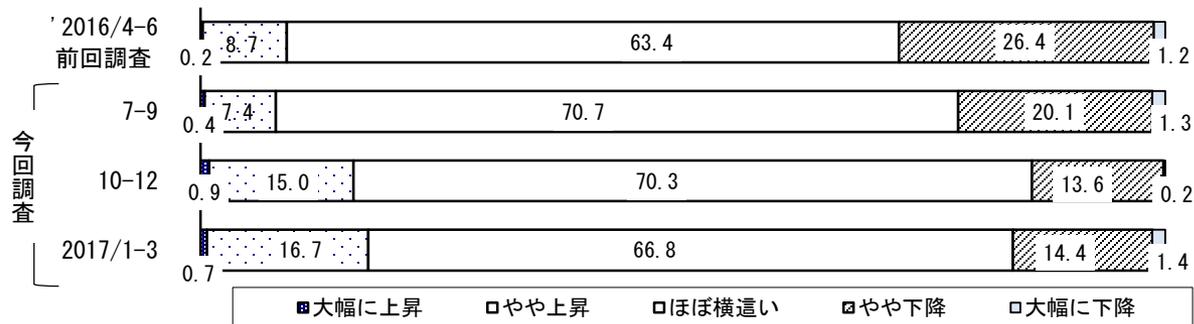
- ▶ 調査対象：大阪商工会議所・関西経済連合会(甲種会員)の会員企業 1,652社
- ▶ 調査時期：2016年8月22日～9月5日
- ▶ 調査方法：調査票の発送・回収ともFAXによる
- ▶ 回答状況：452社(有効回答率27.4%) (大企業：206社、中小企業：246社)  
企業区分は、中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。  
(製造業他：資本金3億円以下、卸売業：資本金1億円以下、小売業・サービス業：資本金5千万円以下)
- ▶ 規模・業種別回答状況：

|           | 製造業 |      |     | 非製造業          |      |     |     |
|-----------|-----|------|-----|---------------|------|-----|-----|
|           | 大企業 | 中小企業 | 計   | 大企業           | 中小企業 | 計   |     |
| 食料品       | 6   | 8    | 14  | 卸売業           | 25   | 53  | 78  |
| 繊維工業・製品   | 8   | 1    | 9   | 小売業           | 7    | 7   | 14  |
| パルプ・紙製品   | 1   | 2    | 3   | 出版・印刷         | 2    | 6   | 8   |
| 化学工業      | 19  | 13   | 32  | 建設業           | 25   | 27  | 52  |
| 鉄鋼        | 5   | 8    | 13  | 不動産業          | 6    | 5   | 11  |
| 非鉄金属・金属製品 | 9   | 16   | 25  | 運輸・通信業        | 8    | 22  | 30  |
| 一般機械器具    | 2   | 7    | 9   | 金融・保険業        | 15   | 2   | 17  |
| 電気機械器具    | 12  | 5    | 17  | 電気・ガス・熱供給・水道業 | 1    | 0   | 1   |
| 輸送用機械器具   | 2   | 4    | 6   | サービス業         | 36   | 27  | 63  |
| 精密機械器具    | 1   | 3    | 4   |               |      |     |     |
| その他製造業    | 16  | 30   | 46  |               |      |     |     |
| 計         | 81  | 97   | 178 | 計             | 125  | 149 | 274 |

※グラフの数値は、端数処理(四捨五入)の関係で、文章の数値と一致しないことがあります。

# 1. 国内景気

## — 3期連続で二桁のマイナス —



### <足もと>

7～9月期における国内景気は、前期と比べ「上昇」と見る回答が7.8%、「下降」と見る回答は21.5%。

この結果、BSI値（「上昇」回答割合－「下降」回答割合、以下同じ）は－13.6と、前期（－18.6）、前々期（－28.1）に続き、3期連続で二桁のマイナスとなった。

### <先行き>

10～12月期のBSI値は2.0、2017年1～3月期は1.6と、緩やかな回復を見込む。

### <規模別>

足もと（7～9月期）のBSI値は、大企業・中小企業とも、3期連続のマイナス圏。

先行きは、大企業は緩やかな回復を見込む。中小企業は、10～12月期はプラス圏に回復するものの、2017年1～3月期は再びマイナス圏を見込む。

### <業種別>

足もと（7～9月期）のBSI値は、製造業は4期連続、非製造業は3期連続のマイナス圏。

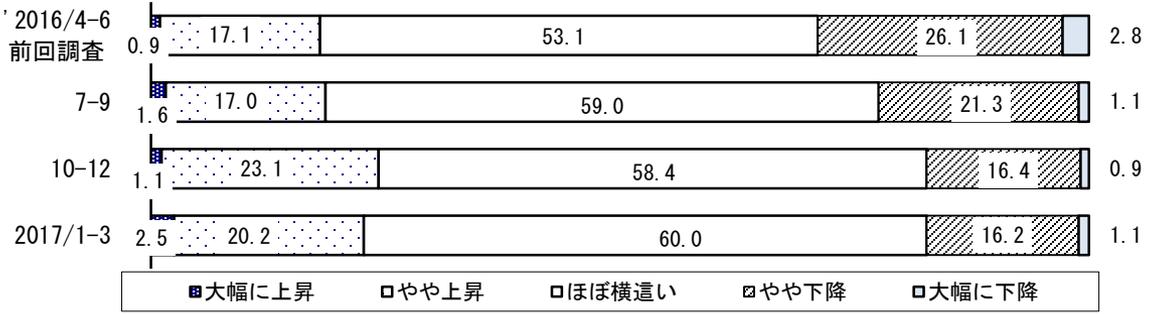
先行きは、製造業は、10～12月期はプラス圏に回復するものの、2017年1～3月期は再びマイナス圏を見込む。

非製造業は緩やかな回復を見込む。 2

# 2. 自社業況 総合判断

## — 3期連続でマイナス —

「今回調査」



### <足もと>

7～9月期における自社業況の総合判断は、前期と比べ「上昇」と見る回答が18.6%、「下降」と見る回答は22.4%。  
この結果、BSI値は-3.8と、前期(-10.9)、前々期(-2.8)に続き、3期連続でマイナスとなった。

### <先行き>

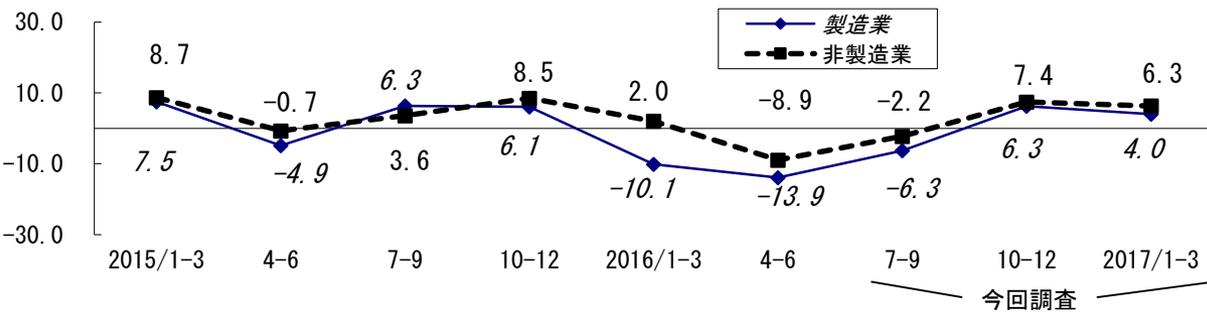
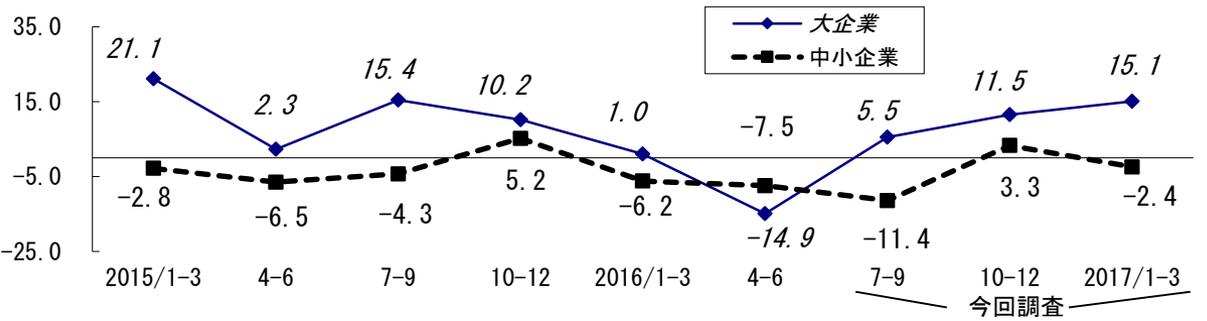
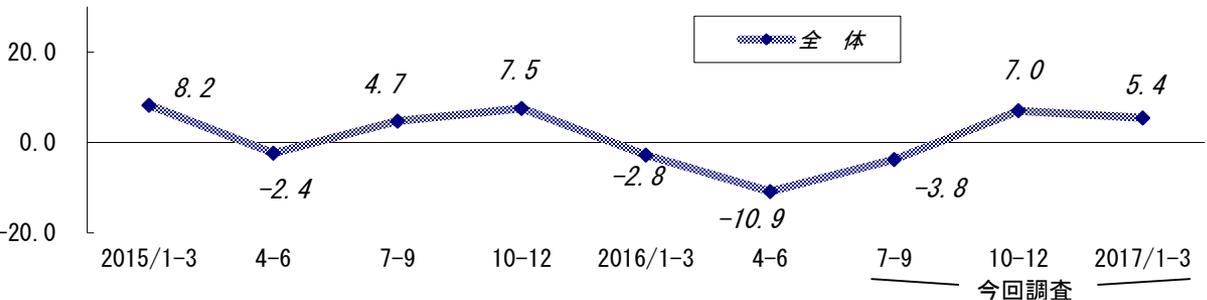
10～12月期のBSI値は7.0、2017年1～3月期は5.4と、プラスに転じ、回復を見込む。

### <規模別>

足もと(7～9月期)のBSI値は、大企業はプラス圏(5.5)に回復。  
一方、中小企業(-11.4)はマイナス幅が拡大しており、企業規模により格差がみられる。  
先行きは、大企業はさらなる回復を見込む。中小企業は、10～12月期はプラス圏に回復するものの、2017年1～3月期は再びマイナス圏の見込み。

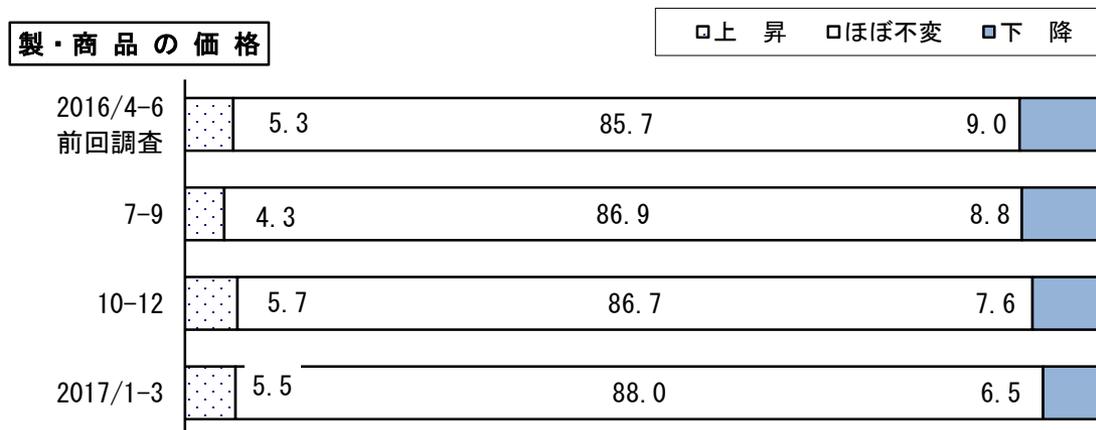
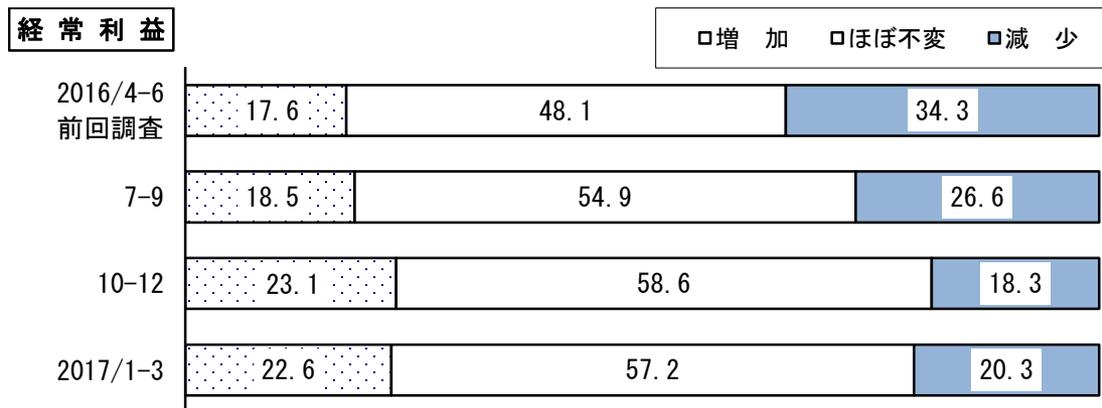
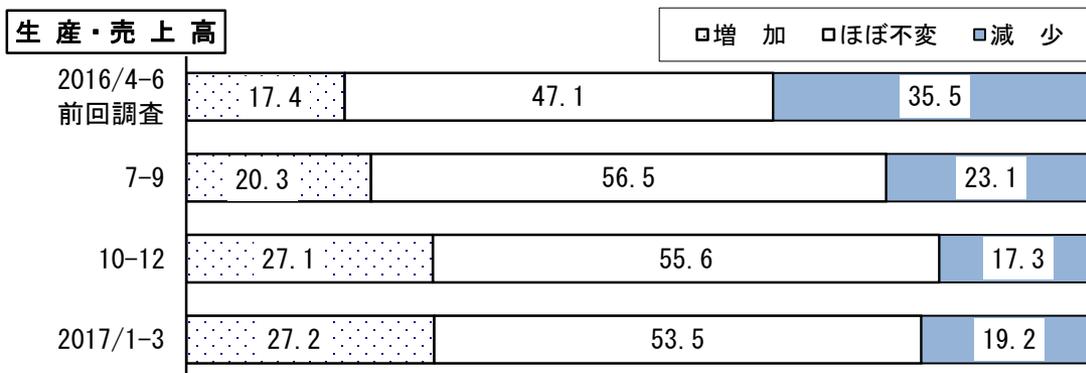
### <業種別>

足もと(7～9月期)のBSI値は、製造業(-6.3)、非製造業(-2.2)ともにマイナス圏。  
先行きは、製造業・非製造業ともに、プラス圏に回復する見込み。



### 3. 自社業況 個別判断

#### 一 生産・売上高、経常利益とも3期連続でマイナス



#### ＜生産・売上高＞

足もと（7～9月期）のBSI値は、-2.8となり、前期（-18.1）、前々期（-0.7）に続き、3期連続でマイナスとなった。

先行きについては、10～12月期（9.8）、2017年1～3月期（8.0）と回復を見込む。

#### ＜経常利益＞

足もと（7～9月期）のBSI値は、-8.1となり、前期（-16.7）、前々期（-3.3）に続き、3期連続でマイナスとなった。

先行きについては、10～12月期（4.8）、2017年1～3月期（2.3）と徐々に回復を見込む。

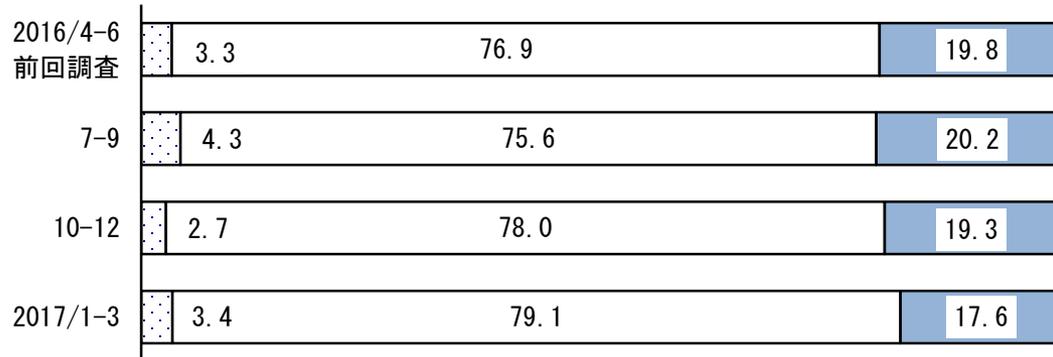
#### ＜製・商品の価格＞

足もと、先行きともに全体の8割以上は「ほぼ不変」で推移。

ただ、足もと（7～9月期）のBSI値は、-4.5となり、前期（-3.8）、前々期（-7.0）に続き、3期連続でマイナスとなっており、価格の下落傾向が続いている。

### 雇用判断

□過剰 □ほぼ適正 □不足



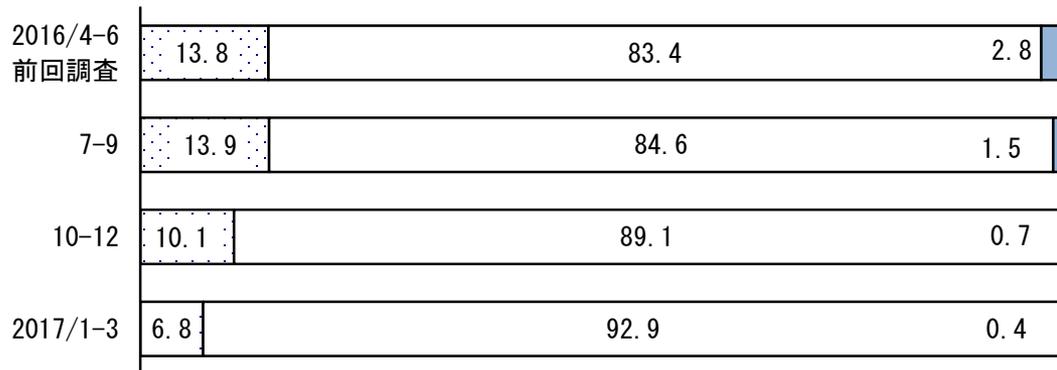
### <雇用判断>

足もと（7～9月期）のBSI値は-15.9と、前期（-16.5）から引き続き不足感が強い。

先行きも、10～12月期（-16.6）、2017年1～3月期（-14.2）と引き続き不足感が続く見込み。

### 製・商品在庫

□過剰 □ほぼ適正 □不足



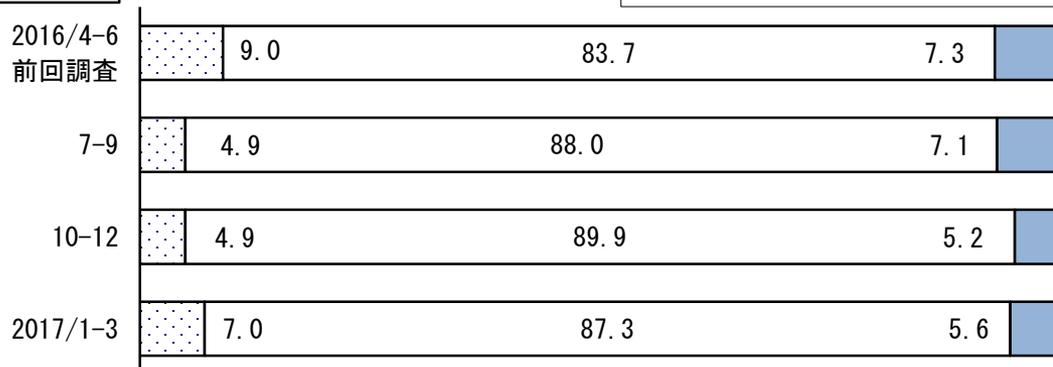
### <製・商品在庫>

足もと（7～9月期）のBSI値は12.4と過剰感がある。

先行き10～12月期（9.4）、2017年1～3月期（6.4）ともに過剰になっており、引き続き在庫は過剰状態が続く見込み。

### 資金繰り

□改善 □ほぼ不変 □悪化



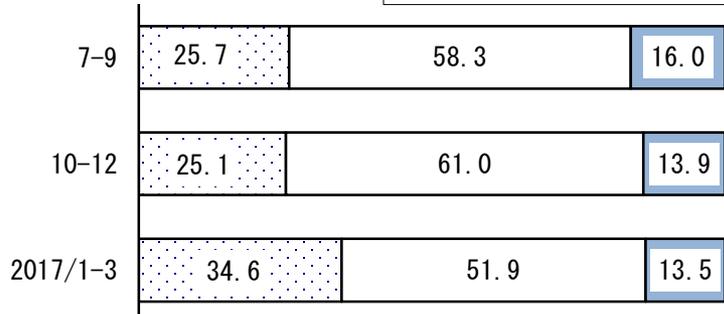
### <資金繰り>

足もと、先行きとも「ほぼ不変」とする回答が8割以上を占める。ただ、BSI値は、-2.1となり、前期（1.7）に比べやや悪化。

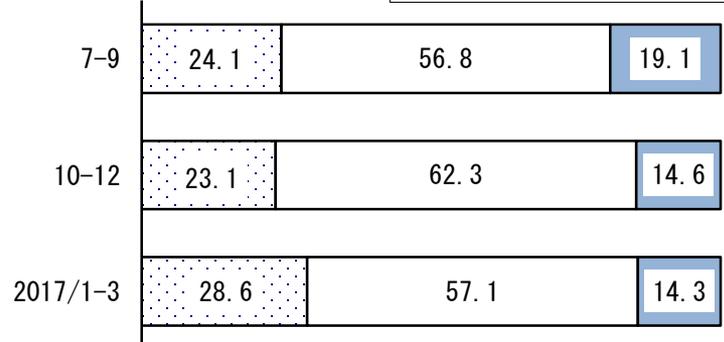
# 【参考—個別判断 企業規模別】

大企業 自社業況 個別判断

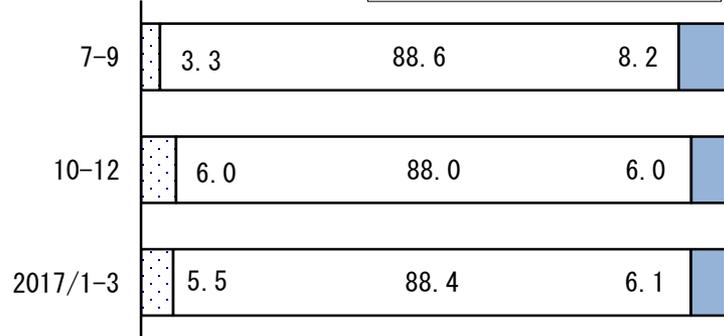
生産・売上高 □増 加 □ほ ぼ不 変 □減 少



経常利益 □増 加 □ほ ぼ不 変 □減 少

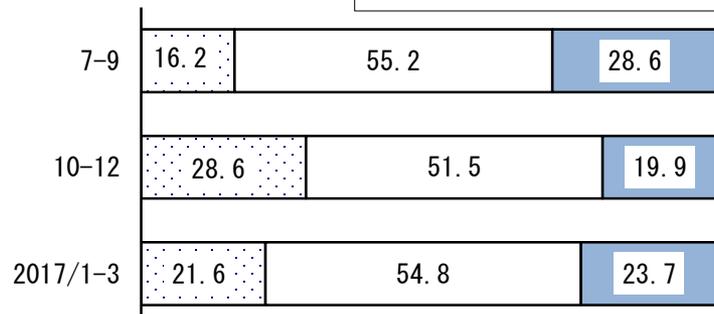


製・商品の価格 □上 昇 □ほ ぼ不 変 □下 降

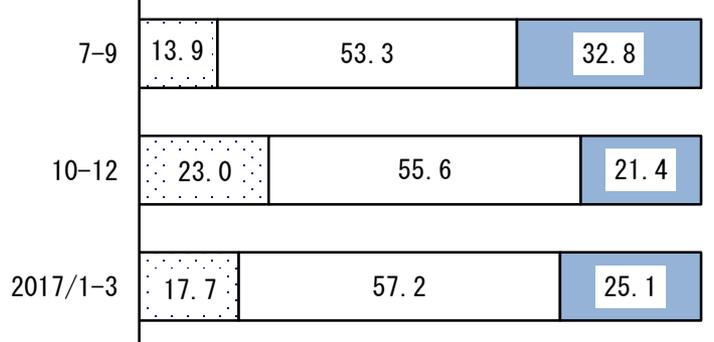


中小企業 自社業況 個別判断

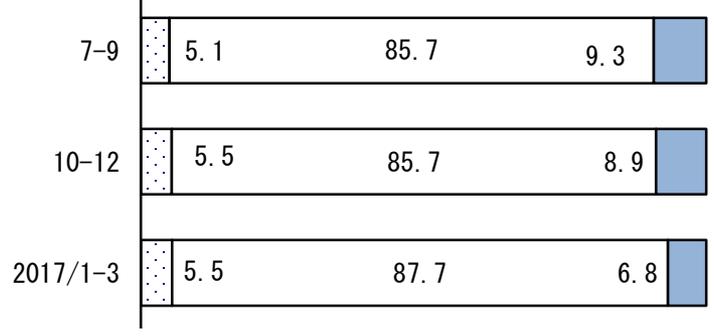
生産・売上高 □増 加 □ほ ぼ不 変 □減 少



経常利益 □増 加 □ほ ぼ不 変 □減 少



製・商品の価格 □上 昇 □ほ ぼ不 変 □下 降



### ＜生産・売上高＞

大企業は、足もと「増加」が「減少」を上回るものの、中小企業は、足もと「減少」が「増加」を上回る。先行き（10～12月期）は、大企業、中小企業ともに、増加超過の見込み。

### ＜経常利益＞

大企業は、足もと「増加」が「減少」を上回るものの、中小企業は、足もと「減少」が「増加」を大幅に上回る。先行き（10～12月期）は、大企業、中小企業ともに、増加超過の見込み。

### ＜製・商品の価格＞

大企業、中小企業とも、各期を通じ「ほぼ不変」の回答が8割以上で推移。ただ足もと（7～9月期）では、大企業、中小企業とも、「下降」が「上昇」を上回り、価格の下落傾向が続いている。

### 大企業 自社業況 個別判断

### 中小企業 自社業況 個別判断

#### 雇用判断

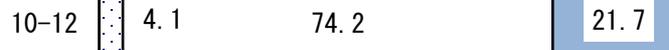
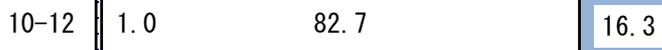
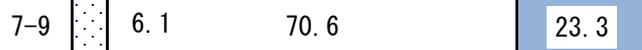
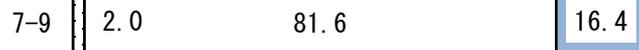
□過剰 □ほぼ適正 □不足

#### 雇用判断

□過剰 □ほぼ適正 □不足

#### <雇用判断>

大企業、中小企業とも、各期を通じ「不足」超過。引き続き人手不足感が強い。



#### 製・商品在庫

□過剰 □ほぼ適正 □不足

#### 製・商品在庫

□過剰 □ほぼ適正 □不足

#### <製・商品在庫>

大企業、中小企業とも、足もとは過剰感がある。特に中小企業は過剰感が強い。先行きについても、過剰状態は続く見込み。



#### 資金繰り

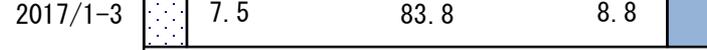
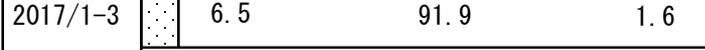
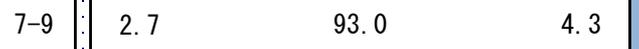
□改善 □ほぼ不変 □悪化

#### 資金繰り

□改善 □ほぼ不変 □悪化

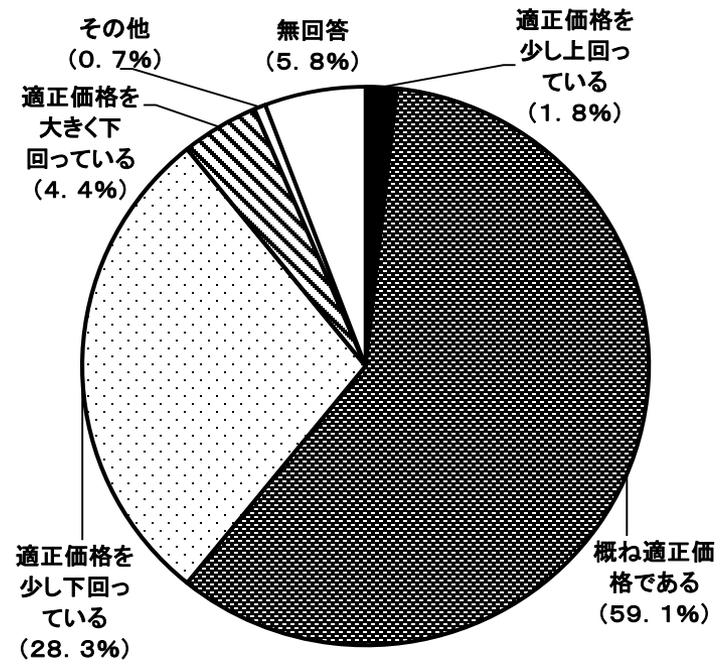
#### <資金繰り>

各期を通じ、大企業では9割以上が、中小企業では8割以上が、「ほぼ不変」の回答で推移。ただ、前期に比べると、BSI値は、大企業、中小企業ともに、やや悪化。



# 4. 製・商品の販売価格

(1)現在の製・商品の販売価格が、適正な利益を反映した価格水準になっているか(単数回答)  
 —3割強が「適正な利益を反映した価格水準を下回っている」と回答—



現在の製・商品の販売価格が、適正な利益を反映した価格水準になっているかを尋ねたところ、約6割(59.1%)の企業が「概ね適正価格である」と回答し、最多。

一方、適正価格を下回っていると回答した企業も3割強あった(32.7%:「適正価格を少し下回っている(28.3%)」「適正価格を大きく下回っている(4.4%)」の合計)。

とりわけ中小企業では、適正価格を下回っていると回答した企業が約4割に上る(39.8%(大企業24.3%):「適正価格を少し下回っている(34.1%)」「適正価格を大きく下回っている(5.7%)」の合計)。

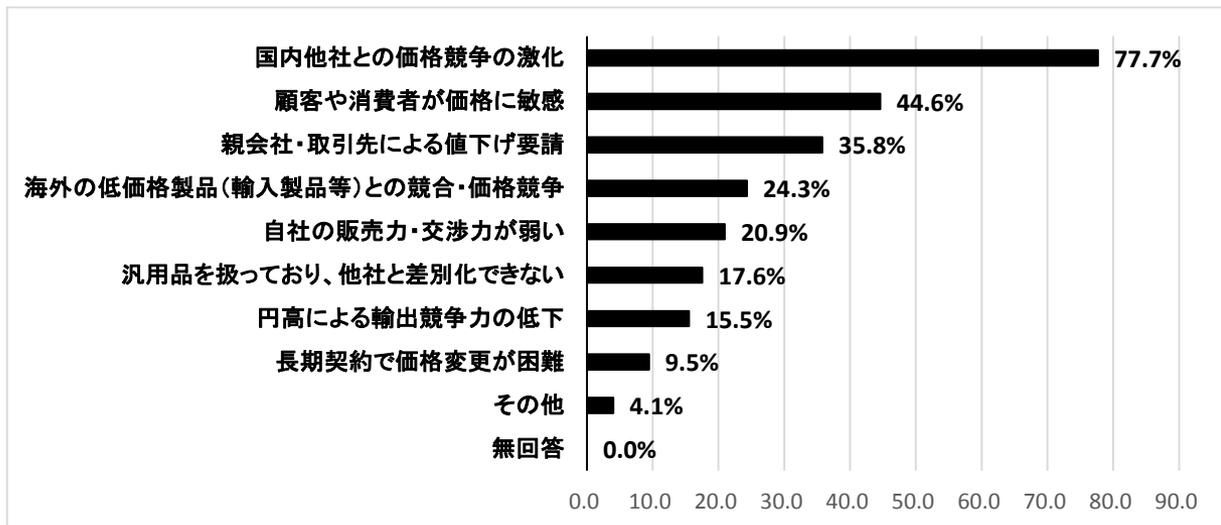
また、製造業でも、適正価格を下回っていると回答した企業が約4割に上り(39.3%:「適正価格を少し下回っている(34.8%)」「適正価格を大きく下回っている(4.5%)」の合計)、非製造業(28.5%)に比べて販売価格を巡る環境が厳しくなっている。

|      |     | 総計    | 適正価格を大きく上回っている | 適正価格を少し上回っている | 概ね適正価格である | 適正価格を少し下回っている | 適正価格を大きく下回っている | その他 | 無回答 |
|------|-----|-------|----------------|---------------|-----------|---------------|----------------|-----|-----|
| 総計   | 件数  | 452   | 0              | 8             | 267       | 128           | 20             | 3   | 26  |
|      | 構成比 | 100.0 | 0.0            | 1.8           | 59.1      | 28.3          | 4.4            | 0.7 | 5.8 |
| 大企業  | 件数  | 206   | 0              | 2             | 133       | 44            | 6              | 1   | 20  |
|      | 構成比 | 45.6  | 0.0            | 1.0           | 64.6      | 21.4          | 2.9            | 0.5 | 9.7 |
| 中小企業 | 件数  | 246   | 0              | 6             | 134       | 84            | 14             | 2   | 6   |
|      | 構成比 | 54.4  | 0.0            | 2.4           | 54.5      | 34.1          | 5.7            | 0.8 | 2.4 |
| 製造業  | 件数  | 178   | 0              | 3             | 102       | 62            | 8              | 1   | 2   |
|      | 構成比 | 39.4  | 0.0            | 1.7           | 57.3      | 34.8          | 4.5            | 0.6 | 1.1 |
| 非製造業 | 件数  | 274   | 0              | 5             | 165       | 66            | 12             | 2   | 24  |
|      | 構成比 | 60.6  | 0.0            | 1.8           | 60.2      | 24.1          | 4.4            | 0.7 | 8.8 |

## 4. 製・商品の販売価格

(2) 適正価格を下回っている主な要因(上位3つまで選択) ※「適正価格を下回っている」と回答した企業のみ回答  
 ー「国内他社との価格競争の激化」が最多。

「顧客や消費者が価格に敏感」、「親会社・取引先による値下げ要請」が続くー

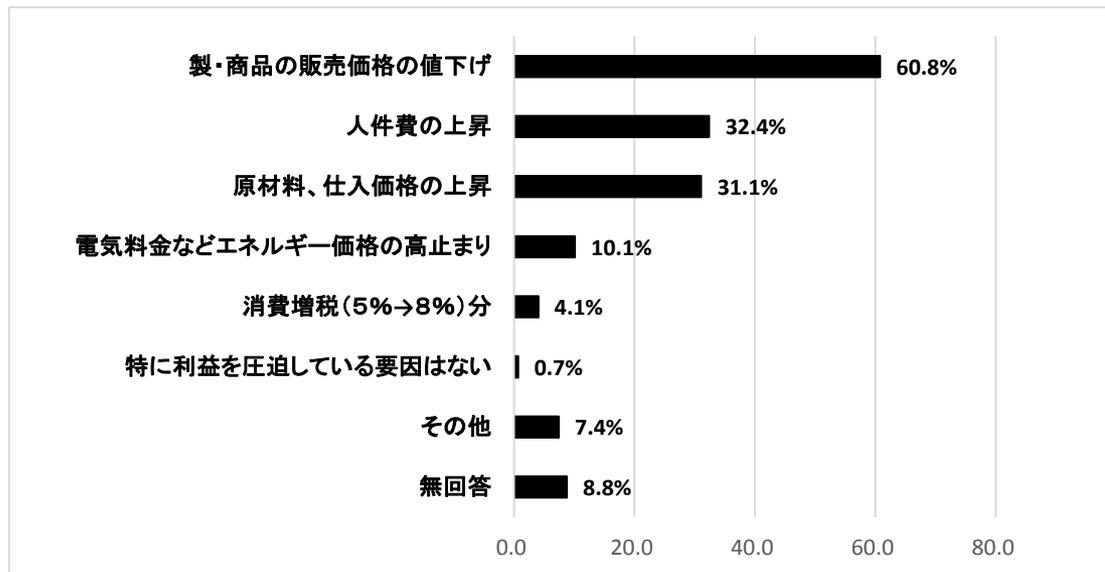


適正価格を下回っていると回答した企業に、その要因について尋ねたところ、「国内他社との価格競争の激化」(77.7%)が最も多く、「顧客や消費者が価格に敏感」(44.6%)、「親会社・取引先による値下げ要請」(35.8%)が続いており、値下げ圧力が強い。

|      |     | 総計    | 親会社・取引先による値下げ要請 | 国内他社との価格競争の激化 | 海外の低価格製品(輸入製品等)との競合・価格競争 | 円高による輸出競争力の低下 | 汎用品を扱っており、他社と差別化できない | 長期契約で価格変更が困難 | 顧客や消費者が価格に敏感 | 自社の販売力・交渉力が弱い | その他 | 無回答 |
|------|-----|-------|-----------------|---------------|--------------------------|---------------|----------------------|--------------|--------------|---------------|-----|-----|
| 総計   | 件数  | 148   | 53              | 115           | 36                       | 23            | 26                   | 14           | 66           | 31            | 6   | 0   |
|      | 構成比 | 100.0 | 35.8            | 77.7          | 24.3                     | 15.5          | 17.6                 | 9.5          | 44.6         | 20.9          | 4.1 | 0.0 |
| 大企業  | 件数  | 50    | 18              | 38            | 14                       | 8             | 10                   | 1            | 22           | 10            | 2   | 0   |
|      | 構成比 | 33.8  | 36.0            | 76.0          | 28.0                     | 16.0          | 20.0                 | 2.0          | 44.0         | 20.0          | 4.0 | 0.0 |
| 中小企業 | 件数  | 98    | 35              | 77            | 22                       | 15            | 16                   | 13           | 44           | 21            | 4   | 0   |
|      | 構成比 | 66.2  | 35.7            | 78.6          | 22.4                     | 15.3          | 16.3                 | 13.3         | 44.9         | 21.4          | 4.1 | 0.0 |
| 製造業  | 件数  | 70    | 23              | 54            | 25                       | 16            | 11                   | 4            | 30           | 13            | 2   | 0   |
|      | 構成比 | 47.3  | 32.9            | 77.1          | 35.7                     | 22.9          | 15.7                 | 5.7          | 42.9         | 18.6          | 2.9 | 0.0 |
| 非製造業 | 件数  | 78    | 30              | 61            | 11                       | 7             | 15                   | 10           | 36           | 18            | 4   | 0   |
|      | 構成比 | 52.7  | 38.5            | 78.2          | 14.1                     | 9.0           | 19.2                 | 12.8         | 46.2         | 23.1          | 5.1 | 0.0 |

## 4. 製・商品の販売価格

(3) 利益を最も圧迫している要因 (上位2つまで選択) ※「適正価格を下回っている」と回答した企業のみ回答  
 —「製・商品の販売価格の値下げ」が最多。「人件費の上昇」、「原材料、仕入価格の上昇」が続く—



適正価格を下回っていると回答した企業に、利益を最も圧迫している要因について尋ねたところ、「製・商品の販売価格の値下げ」(60.8%)が最多となった。以下、「人件費の上昇」(32.4%)、「原材料、仕入価格の上昇」(31.1%)が続き、値下げが企業収益を圧迫する中で、人件費や原材料など、コストアップが収益を一層悪化させている。

企業規模や製造・非製造に関わらず、「製・商品の販売価格の値下げ」が最多となったが、大企業や製造業では、「原材料、仕入価格の上昇」が2番目で続く一方、中小企業や非製造業では、「人件費の上昇」が2番目にあがっており、人手不足の中で、中小企業や非製造業において、人件費の上昇がより深刻。

|      |     | 総計    | 製・商品の販売価格の値下げ | 原材料、仕入価格の上昇 | 人件費の上昇 | 電気料金などエネルギー価格の高止まり | 消費増税(5%→8%)分 | 特に利益を圧迫している要因はない | その他  | 無回答  |
|------|-----|-------|---------------|-------------|--------|--------------------|--------------|------------------|------|------|
| 総計   | 件数  | 148   | 90            | 46          | 48     | 15                 | 6            | 1                | 11   | 13   |
|      | 構成比 | 100.0 | 60.8          | 31.1        | 32.4   | 10.1               | 4.1          | 0.7              | 7.4  | 8.8  |
| 大企業  | 件数  | 50    | 31            | 17          | 9      | 8                  | 0            | 0                | 5    | 5    |
|      | 構成比 | 33.8  | 62.0          | 34.0        | 18.0   | 16.0               | 0.0          | 0.0              | 10.0 | 10.0 |
| 中小企業 | 件数  | 98    | 59            | 29          | 39     | 7                  | 6            | 1                | 6    | 8    |
|      | 構成比 | 66.2  | 60.2          | 29.6        | 39.8   | 7.1                | 6.1          | 1.0              | 6.1  | 8.2  |
| 製造業  | 件数  | 70    | 43            | 28          | 20     | 13                 | 1            | 0                | 8    | 0    |
|      | 構成比 | 47.3  | 61.4          | 40.0        | 28.6   | 18.6               | 1.4          | 0.0              | 11.4 | 0.0  |
| 非製造業 | 件数  | 78    | 47            | 18          | 28     | 2                  | 5            | 1                | 3    | 13   |
|      | 構成比 | 52.7  | 60.3          | 23.1        | 35.9   | 2.6                | 6.4          | 1.3              | 3.8  | 16.7 |

【参考－BSI値の推移】

| 回数・時期 |          | 国内景気  |            |       |       |       | 自社業況  |            |       |       |       |
|-------|----------|-------|------------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
|       |          | 全体    | 足もと<br>大企業 | 中小企業  | 3カ月後  | 6カ月後  | 全体    | 足もと<br>大企業 | 中小企業  | 3カ月後  | 6カ月後  |
| 1     | 2001年3月  | ▲56.4 | ▲57.6      | ▲55.3 | ▲33.1 | ▲9.8  | ▲21.6 | ▲7.6       | ▲34.7 | ▲17.7 | ▲0.9  |
| 2     | 2001年6月  | ▲44.2 | ▲42.2      | ▲46.2 | ▲23.5 | 6.7   | ▲31.7 | ▲26.8      | ▲36.4 | ▲6.8  | 9.5   |
| 3     | 2001年9月  | ▲78.6 | ▲81.8      | ▲75.3 | ▲58.1 | ▲37.7 | ▲44.8 | ▲38.6      | ▲51.1 | ▲27.9 | ▲21.7 |
| 4     | 2001年12月 | ▲69.8 | ▲72.8      | ▲67.0 | ▲59.3 | ▲26.8 | ▲38.4 | ▲40.7      | ▲36.4 | ▲30.9 | ▲17.4 |
| 5     | 2002年3月  | ▲66.1 | ▲63.9      | ▲68.0 | ▲33.7 | ▲11.5 | ▲37.6 | ▲32.6      | ▲42.0 | ▲20.1 | ▲3.2  |
| 6     | 2002年6月  | ▲7.0  | 4.5        | ▲17.8 | 6.4   | 31.0  | ▲19.9 | ▲12.9      | ▲26.3 | ▲2.5  | 15.6  |
| 7     | 2002年9月  | ▲19.0 | ▲10.3      | ▲27.9 | ▲4.4  | 2.0   | ▲15.8 | ▲4.9       | ▲26.8 | ▲5.5  | ▲3.1  |
| 8     | 2002年12月 | ▲39.0 | ▲40.5      | ▲37.5 | ▲40.5 | 16.1  | ▲7.9  | ▲6.0       | ▲9.8  | ▲18.8 | ▲10.8 |
| 9     | 2003年3月  | ▲40.3 | ▲40.2      | ▲40.3 | ▲26.7 | ▲12.8 | ▲16.9 | 0.0        | ▲32.3 | ▲19.1 | ▲7.2  |
| 10    | 2003年6月  | ▲36.0 | ▲33.2      | ▲38.2 | ▲26.1 | ▲5.0  | ▲25.1 | ▲23.9      | ▲26.1 | ▲10.9 | 4.3   |
| 11    | 2003年9月  | 6.1   | 17.3       | ▲3.9  | 20.8  | 16.8  | ▲5.2  | 6.3        | ▲15.5 | 13.2  | 7.8   |
| 12    | 2003年12月 | 27.1  | 29.7       | 24.6  | 16.6  | 27.5  | 12.3  | 11.3       | 13.1  | 3.5   | 6.6   |
| 13    | 2004年3月  | 30.7  | 37.1       | 25.5  | 37.0  | 32.9  | 5.5   | 17.5       | ▲4.4  | 8.1   | 13.0  |
| 14    | 2004年6月  | 40.5  | 51.0       | 31.5  | 34.6  | 35.6  | 6.8   | 16.2       | ▲1.1  | 18.3  | 22.3  |
| 15    | 2004年9月  | 35.0  | 46.2       | 24.5  | 29.3  | 15.0  | 14.0  | 20.7       | 7.9   | 15.2  | 5.7   |
| 16    | 2004年12月 | 13.5  | 14.5       | 12.4  | ▲9.6  | 4.5   | 7.1   | 12.2       | 2.4   | 4.8   | 4.6   |
| 17    | 2005年3月  | ▲10.0 | ▲5.7       | ▲13.4 | 5.5   | 15.7  | ▲3.0  | 10.0       | ▲13.6 | 3.2   | 16.5  |
| 18    | 2005年6月  | 9.2   | 13.2       | 4.9   | 12.9  | 28.2  | ▲1.1  | 3.4        | ▲5.8  | 11.0  | 19.9  |
| 19    | 2005年9月  | 24.0  | 31.3       | 18.1  | 27.6  | 23.0  | 4.1   | 10.9       | ▲1.6  | 18.8  | 16.8  |
| 20    | 2005年12月 | 47.5  | 53.5       | 41.7  | 38.8  | 36.3  | 16.9  | 26.6       | 7.8   | 20.5  | 13.9  |
| 21    | 2006年3月  | 40.7  | 46.6       | 35.9  | 46.5  | 39.8  | 14.3  | 17.8       | 11.3  | 15.4  | 19.9  |
| 22    | 2006年6月  | 41.1  | 53.4       | 29.5  | 39.0  | 30.6  | 7.4   | 16.9       | ▲1.6  | 20.0  | 25.1  |
| 23    | 2006年9月  | 35.3  | 48.1       | 24.3  | 34.5  | 18.7  | 8.4   | 25.2       | ▲6.1  | 22.7  | 14.4  |
| 24    | 2006年12月 | 30.2  | 40.0       | 22.5  | 15.5  | 15.6  | 20.7  | 26.9       | 15.9  | 13.0  | 12.8  |
| 25    | 2007年3月  | 20.4  | 31.6       | 13.9  | 29.7  | 24.9  | 7.3   | 14.7       | 3.0   | 16.0  | 20.9  |
| 26    | 2007年6月  | 15.1  | 27.8       | 6.9   | 19.8  | 22.0  | ▲0.2  | 2.7        | ▲2.0  | 15.5  | 24.7  |
| 27    | 2007年9月  | 3.6   | 15.3       | ▲3.4  | 13.5  | 10.2  | ▲1.2  | 5.7        | ▲5.4  | 11.6  | 12.1  |
| 28    | 2007年12月 | ▲15.9 | ▲9.5       | ▲19.7 | ▲22.1 | ▲10.1 | 3.7   | 4.5        | 3.3   | ▲2.0  | ▲0.2  |
| 29    | 2008年3月  | ▲43.9 | ▲39.2      | ▲46.6 | ▲35.1 | ▲18.8 | ▲15.6 | ▲1.4       | ▲24.1 | ▲12.9 | ▲2.6  |
| 30    | 2008年6月  | ▲48.6 | ▲49.3      | ▲48.2 | ▲44.6 | ▲32.4 | ▲22.6 | ▲20.7      | ▲23.6 | ▲17.5 | ▲6.9  |
| 31    | 2008年9月  | ▲66.2 | ▲64.1      | ▲67.6 | ▲55.8 | ▲42.2 | ▲27.9 | ▲21.1      | ▲32.2 | ▲17.7 | ▲17.4 |
| 32    | 2008年12月 | ▲83.1 | ▲87.8      | ▲80.1 | ▲78.4 | ▲56.9 | ▲41.7 | ▲45.0      | ▲39.7 | ▲42.4 | ▲33.4 |
| 33    | 2009年3月  | ▲87.9 | ▲90.7      | ▲86.1 | ▲65.3 | ▲39.2 | ▲63.9 | ▲63.8      | ▲63.9 | ▲52.6 | ▲36.2 |
| 34    | 2009年6月  | ▲42.2 | ▲24.1      | ▲52.5 | ▲19.6 | 8.5   | ▲46.5 | ▲39.1      | ▲50.7 | ▲23.0 | ▲1.3  |
| 35    | 2009年9月  | ▲16.6 | 2.0        | ▲27.6 | ▲5.0  | 1.7   | ▲24.4 | ▲10.1      | ▲32.9 | ▲11.1 | ▲10.2 |
| 36    | 2009年12月 | ▲16.8 | ▲7.1       | ▲23.1 | ▲23.6 | ▲5.4  | ▲14.2 | 1.0        | ▲23.8 | ▲23.6 | ▲16.8 |
| 37    | 2010年3月  | ▲9.9  | 4.7        | ▲18.8 | ▲1.4  | 8.6   | ▲19.3 | ▲4.3       | ▲28.4 | ▲12.2 | 0.2   |
| 38    | 2010年6月  | 4.5   | 23.4       | ▲7.7  | 5.3   | 18.7  | ▲6.5  | 8.3        | ▲16.2 | ▲0.2  | 12.8  |
| 39    | 2010年9月  | ▲17.1 | ▲3.8       | ▲25.9 | ▲20.2 | ▲17.0 | ▲10.6 | ▲0.5       | ▲17.2 | ▲6.3  | ▲10.0 |
| 40    | 2010年12月 | ▲18.5 | ▲12.5      | ▲22.3 | ▲15.9 | 3.7   | ▲9.9  | ▲3.5       | ▲13.8 | ▲14.4 | ▲0.2  |
| 41    | 2011年3月  | 5.3   | 11.7       | 1.1   | 6.9   | 9.8   | ▲1.6  | 3.4        | ▲4.8  | 1.4   | 5.0   |
| 42    | 2011年6月  | ▲57.1 | ▲58.1      | ▲56.5 | ▲13.0 | 17.0  | ▲24.4 | ▲26.3      | ▲23.4 | ▲9.2  | 10.7  |
| 43    | 2011年9月  | ▲9.5  | 9.7        | ▲23.4 | 2.0   | 5.7   | ▲8.0  | 9.2        | ▲20.4 | 8.0   | 2.1   |
| 44    | 2011年12月 | ▲26.4 | ▲22.2      | ▲29.8 | ▲17.2 | 0.0   | ▲9.4  | ▲3.8       | ▲13.7 | ▲10.4 | 2.1   |
| 45    | 2012年3月  | ▲8.5  | ▲0.9       | ▲14.7 | 14.3  | 17.2  | ▲12.2 | ▲7.3       | ▲16.1 | 1.0   | 10.1  |
| 46    | 2012年6月  | ▲4.9  | 6.3        | ▲14.6 | ▲4.7  | 17.4  | ▲8.1  | ▲2.9       | ▲12.5 | 5.2   | 19.0  |
| 47    | 2012年9月  | ▲9.9  | ▲0.5       | ▲17.6 | 3.2   | 2.8   | ▲5.5  | 3.3        | ▲12.5 | 11.7  | 1.1   |
| 48    | 2012年12月 | ▲40.5 | ▲44.0      | ▲37.6 | ▲20.0 | ▲3.0  | ▲8.4  | ▲7.6       | ▲9.0  | ▲12.3 | ▲4.6  |
| 49    | 2013年3月  | 22.0  | 32.3       | 13.0  | 37.7  | 38.0  | ▲1.7  | 9.8        | ▲11.6 | 7.9   | 24.5  |
| 50    | 2013年6月  | 45.8  | 54.5       | 36.6  | 47.4  | 43.6  | 8.2   | 10.3       | 6.1   | 20.5  | 24.9  |
| 51    | 2013年9月  | 32.8  | 42.8       | 22.7  | 37.3  | 35.3  | 8.0   | 21.3       | ▲5.5  | 22.9  | 16.3  |
| 52    | 2013年12月 | 47.6  | 58.3       | 38.9  | 47.0  | ▲5.6  | 22.8  | 29.9       | 17.0  | 19.3  | ▲4.9  |
| 53    | 2014年3月  | 50.4  | 59.1       | 42.7  | ▲31.3 | 26.9  | 20.2  | 30.2       | 11.3  | ▲18.8 | 16.6  |
| 54    | 2014年6月  | ▲27.6 | ▲31.6      | ▲23.8 | 33.4  | 37.6  | ▲18.4 | ▲19.5      | ▲17.4 | 14.8  | 23.6  |
| 55    | 2014年9月  | 17.1  | 35.2       | 1.2   | 27.4  | 17.8  | 4.5   | 18.7       | ▲7.7  | 17.8  | 15.1  |
| 56    | 2014年12月 | 6.4   | 13.0       | 0.4   | 4.5   | 14.2  | 9.4   | 13.1       | 6.1   | 3.9   | 3.0   |
| 57    | 2015年3月  | 18.2  | 30.7       | 7.5   | 23.8  | 26.2  | 8.2   | 21.1       | ▲2.8  | 4.2   | 16.7  |
| 58    | 2015年6月  | 21.0  | 32.7       | 10.6  | 25.4  | 28.2  | ▲2.4  | 2.3        | ▲6.5  | 16.0  | 22.3  |
| 59    | 2015年9月  | 10.0  | 18.4       | 2.7   | 16.0  | 13.1  | 4.7   | 15.4       | ▲4.3  | 17.0  | 13.0  |
| 60    | 2015年12月 | 4.9   | 7.0        | 3.1   | 0.0   | 10.0  | 7.5   | 10.2       | 5.2   | 7.3   | ▲0.7  |
| 61    | 2016年3月  | ▲28.1 | ▲23.9      | ▲31.9 | ▲7.8  | 2.1   | ▲2.8  | 1.0        | ▲6.2  | 4.3   | 8.4   |
| 62    | 2016年6月  | ▲18.6 | ▲12.8      | ▲23.7 | ▲6.1  | 5.2   | ▲10.9 | ▲14.9      | ▲7.5  | 4.5   | 15.1  |
| 63    | 2016年9月  | ▲13.6 | ▲6.9       | ▲19.3 | 2.0   | 1.6   | ▲3.8  | 5.5        | ▲11.4 | 7.0   | 5.4   |

# 国内景気判断と自社業況判断の推移

